

古賀志山山行報告

【山行日】2022年 9月 17(土) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬

安西、小林、鈴木ミ、福島、藤原フ

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00＝

細谷ダム下 P6:50/7:05～中尾根登山口 7:20～

軍艦岩 8:00～496m P8:30～559m P9:20/9:30

～富士見峠 10:00/10:10～

古賀志山 10:30～御嶽山 10:50/11:00

～古賀志山 11:15/11:45～東稜展望台 12:00～細谷ダム下P13:00/13:10＝栃木市運動公園P14:10

9月25日(日)の八海山山行に向けて、「岩場とクサリ場通過のトレーニング山行を計画してほしい」と要望があり今回の山行を計画した。会員の皆さんに山行案内を送付したところ、八海山山行に参加しない方も申し込みがあり7名での山行となった。



参加しない方も申し込みがあり7名での山行となった。栃木市運動公園を6時に出発し、森林公園駐車場でトイレを済ませ、細谷ダム下の駐車スペースに車を止める。準備を整えストレッチを行って出発し、北登山道への林道を進み、直ぐに右側の標識に従って3番岩方面に向かい、右にトラバース道を進んで細谷ダム堰堤を越える。ダム沿いに舗装道を進むと、東屋からの道が交差した場所に登山口がある。ここから山道に入り急坂を登ると分岐に出て、左にトラバースして進むと

中尾根縦走路の鞍部に出る。小休止して衣服調整を行い、ヘルメットを付けたら岩登りの基本を教

える。岩場を登りながら三点支持や、体を岩から離しスタンスに立ちこむ事を見て覚えてもらう。皆さん上手にクサリ場を登り、クサリのない岩場も難なく越えて行く。次のクサリ場は、狭い岩の溝を登る箇所スタンスが無く、苦戦したが何とか登り切った。その後の岩場は軽快に登り、展望が良い軍艦岩に着き小休止する。ここからも主稜線を小さなアップダウンを繰り返して進み、496mピークを過ぎると左に回り込んで下って行く。さらに主稜線を外さず進み、一旦下ると北登山道ベンチへの分岐に出る。



ここでも主稜線を外さず進み、西にアップダウンを繰り返しながら岩場を登って行く。

最後のクサリ場を登り切ると559mピークへの分岐になり、斜め右側に下って行く。尾根の基部をトラバース気味に進み、左に登る踏み跡を進むと急な岩壁を登るようになる。クサリやロープは無い

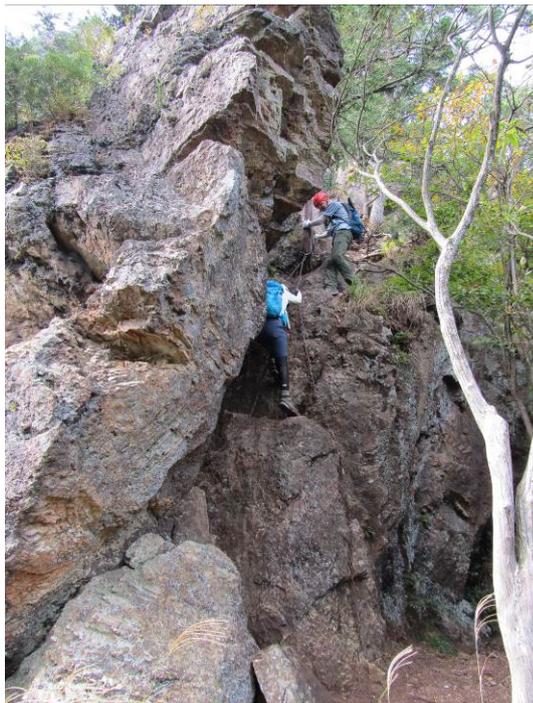


が、ホールドとスタンスはしっかりしているので慎重に登れば問題ない。登り切って尾根に出たら左に進むと、山頂標識や丸太のベンチがある559mピークに着く。南側の展望が良く、これから登る古賀志山や御嶽山を眺めながらナシやクッキーをいただく。山頂から尾根を西に少し行くと古賀志山への分岐があり、左に急坂を下って行く。クサリやロープ、岩に付けられた鉄の足場を使って慎重に下り、下り切ると中尾根からの縦走路が合わさる。展望が良い

伐採地を過ぎ、尾根を下って行くと富士見峠に出る。ここで北登山道合流し、直進して20分程急坂を登ると電波塔が立つ古賀志山山頂に着く。ここから西の尾根を進み御嶽山に向かい、手前の岩場もクサリを使って越えて行く。ハンゴで岩を越え、ほんの少し登ると御嶽山山頂に出る。北側に展望が開け、日光連山や高原山の眺望が素晴らしい。展望を楽しんだら来た道に戻り、古賀志山山頂でランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。ランチが済んだら



下山開始し、来た道を少し戻り東稜見晴台に向かう。東稜見晴台からの展望は素晴らしく、古賀志



山で一番の展望を楽しむ。東稜見晴台から急なクサリ場を3ヶ所下るが、垂直の岩場を下るので中々手強い。最初のクサリ場に着くと夫婦が登って来て、苦戦して登るのに時間が掛かり待たされる。我輩が最初に下り、岩から体を離しスタンスを良く見て下るよう手本を示す。苦戦していたが、下からスタンスを指示し何とか下り切った。次のクサリ場からは慣れて来て、スムーズに降りることが出来た。クサリ場を下ると東尾根の肩に出て、ここから左に進み東尾根を外さぬよう下る。鞍部の分岐は左の踏跡を辿り、北登山道に合わさる。そのまま北登山道を下り、細谷ダム下の駐車スペースに戻って靴を履き替え帰路につく。森林公園駐車場でトイレを済ませ、途中のメロン直売所に寄ってキズ有メロンを格安で購入し、予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。